

構造化クレームを用いる 請求項文ライティングマニュアル

2014年1月版

一般財団法人日本特許情報機構 特許情報研究所

特定非営利活動法人セマンティックコンピューティング研究開発機構

[著作権について]

本マニュアルは、一般財団法人日本特許情報機構特許情報研究所（以下、Japio と略す）と特定非営利活動法人セマンティックコンピューティング研究開発機構（以下、ISeC と略す）のメンバによる共同著作物である。ただし、ISeC は、自身の権利となる著作権をすべて Japio に譲渡する。したがって、本マニュアルに関するすべての著作権の行使は、Japio によって行われる。

2014年1月31日

一般財団法人日本特許情報機構特許情報研究所
特定非営利活動法人セマンティックコンピューティング研究開発機構

【目次紹介】

1. 請求項文ライティングとは	1
2. 例示による請求項文ライティングの説明	6
2.1 構造化クレームという表現ツール	6
2.2 ライティングモデル	8
2.3 ライティングの例	9
A. 和文構造化クレームを作成する	9
B. 和文構造化クレームを請求項文へと読む	16
C. 英文構造化クレームへ翻訳する	35
D. 英文構造化クレームを Claim 文へと読む	39
E. 中文構造化クレームへ翻訳する	47
F. 中文構造化クレームを権利項文へと読む	51
3. 構造化クレームの仕様とライティングプロセス	52
3.1 構造化クレームの仕様	52
3.1.1 構造化言語の表記法	52
3.1.2 発明の内容と請求項の構成	61
3.1.3 構造化クレームの基本パターン	65

3.2	ライティングプロセス	80
A'	特許請求の範囲の基本設計	80
A.	和文構造化クレームの作成	80
B.	和文構造化クレーム（基本パターン）の線状化	87
C.	和文構造化クレーム（基本パターン）の英訳	109
D.	英文構造化クレーム（基本パターン）の線状化	118
E.	和文構造化クレーム（基本パターン）の中訳	124
F.	中文構造化クレーム（基本パターン）の線状化	125
4.	ライティング例	130
4.1	ペダルで操作する機器の暴走防止機構（差し替える）	131
4.2	光強度測定装置（差し替える）	137
5.	ライティング演習	146
5.1	オンラインシスム	142

構造化クレーム」は、明晰に請求項内容を表現する論理的な表現形式（新たなパテントマップ）です。しかも、数日間の講習で、知財関係者誰もが習得することが出来ます。この「構造化クレーム」から、望む形式（名詞句、複文、連文、それらの混合文）の和文請求項文を生成することができます。和文構造化クレームを現状の機械翻訳を活用して、他言語文構造化クレームに翻訳することができます。そして、他言語文構造化クレームから、望む形式の各国出願用クレーム文を生成することができます。さらに、クレーム間の類似性の判定、クレームの縮約・情報抽出、等々の高度な知的

処理も実現することが出来ます。ただし、これらの実現には、言語処理等の ICT 専門家がが必要です。これらは、さておき、「構造化クレーム」を中心において、特許請求の範囲の設計方法、請求文の作成、請求項のメンテナンス、これらの一連の手順をまとめ、知財専門家のトレーニングコースが開設されることを望みます（横井）

(以下本文は、略)